

戦争と貧困 核兵器廃絶

なくす

憲法9条守る

高見あつみ

64歳

広島改選数2

2議席をめぐる7候補が激しく競り合う、参院広島選挙区。日本共産党の高見あつみ候補（64）＝新＝は、「戦争と貧困をなくすことが私の政治信条。戦争する国づくりは断じて許すわけにはいきりません。必ず勝ち抜かせてほしい」と訴えます。
内田達朗記者

高見候補の訴えを最後まで聞いていた広島市安芸区の坂根豊子さん（65）は、「戦争法は許さないというのが広島人の心です。戦争法廃止の要である共産党に躍進してほしい」と語ります。

広島選挙区（改選数2）は、高見候補と、自民現職、民進現職、おおさか維新の新人ら7人が立候補。自民現職は第一声で「まだ道半ばだが、方向性は間違っていない」とアベノミクスの

成果を強調。改憲には触れずに争点を隠します。野党共闘への危機感から、反共攻撃や野党共闘への批判を繰り返し、企業・団体の動員・締め付けの選挙戦を展開しています。おおさか維新の新人は国

会議員や公務員の削減など「身を切る改革」を強調し、「統治機構改革のために改憲は必要」と、与党の補完勢力であることは明らかです。

推進の「自民・公明と補完勢力」を少数に追いこむために「何か応援したい」。そう言う連日大学生や市民が、事務所を訪ねてきます。かつてなかったことです。

会説会では席が足りなくなるなど、各地の演説会や小集会は熱気にあふれ、「野党共闘を追求する真摯（しんし）な姿勢に共感している」「平和の問題でも、暮らしの問題でも共産党の提案には共感できる。ぜひ国会で活躍してほしい」と期待が寄せられます。

えられる」と希望が広がっています。憲法9条には、ノーモア・ヒロシマ、ナガサキの思いが込められています。日本共産党の勝利で戦争法廃止・憲法守れの願いを実現しましょう。

村上昭二県委員長は「広島で比例25万票を獲得して党躍進の波を起こし、ヒロシマの願いを国会に届ける高見さんを必ず国会へ」と呼びかけます。

広島の声を国会に



廿日市・自然を考える会
高木恭代さん（75）

これまでの国政選挙では、共産党が候補者をおろせばいいのに、と思ったこともありました。

安倍首相は憲法改悪を狙っています。この広島から、改憲推進議員を出したくはありません。憲法改悪を許さないために、共産党がしっかり議席をのばし、高見さんにも議席を勝ち取ってもらいたいです。

でも、揺るがない姿勢に感動しています。

高見さんは、街頭で反戦平和を原点として活動してきた、と訴えています。その思いを実現するために、ぜひ国会で奮闘してほしい。広島代表として、核兵器廃絶を願う「広島の声」を届け、戦争法を廃止し、みんなの暮らしをよくしていくために力を尽くしてください。これを期待します。

今回共産党は、32の1人区のうち31の選挙区で候補者をおろし、全区で野党統一ができました。「野党は共闘」という市民の声、市民の思いを受け、共産党がリーダーシップを発揮してくださったおかげです。いろいろあつ